

社会資本総合整備計画(市街地整備)

平成 24年 3月 24日

計画の名称	1 鉄道駅を中心とした地域拠点における都市環境の向上														
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)					交付対象		豊島区							
計画の目標															
地域の拠点となる鉄道駅及び駅周辺において、安全性と利便性を備えた快適な歩行者空間を整備することにより、賑わいと魅力が街中へと広がる都市環境を創出する。															
計画の成果目標(定量的指標)															
・駅周辺整備を進め、新たな広場空間(歩行者優先空間)を約4,400㎡(H27)創出する。 ・自転車駐車場整備を進め、放置自転車数を 1,266台(H22)から 890台(H27)まで減少(△30%)する。															
定量的指標の定義及び算定式					定量的指標の現況値及び目標値					備考					
					当初現況値	中間目標値	最終目標値								
					(H23当初)	(H25末)	(H27末)								
3駅周辺の広場空間(歩行者優先空間)の整備状況を把握する					(H22集計) 1,200㎡	(H25集計) 3,700㎡	(H27集計) 5,600㎡								
3駅周辺における放置自転車台数を把握する					(H22集計) 1,266台	(H25集計) 1,030台	(H27集計) 890台								
全体事業費		合計 (A+B+C)	3,323 百万円	A	3,323 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	0.000%				
交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
1-A-1	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	大塚駅地区都市交通システム整備事業	駅前広場 約 8,000㎡	豊島区	H23	H24	H25	H26	H27	305	
1-A-2	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	大塚駅地区都市交通システム整備事業	自転車駐車場 約 1,000台	豊島区						1,580	
1-A-3	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	池袋駅周辺地区都市交通システム整備事業	自転車駐車場 約 200台	豊島区						156	
1-A-4	交通	一般	豊島区	間接	鉄道事業者※	池袋駅周辺地区都市交通システム整備事業	地下通路サイン整備	豊島区						150	
1-A-5	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	池袋駅周辺地区都市交通システム整備事業	自由通路 延長:約 120m、幅員:約 20m	豊島区						525	
1-A-6	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	椎名町駅地区都市交通システム整備事業	自由通路 延長: 22m、幅員: 5m	豊島区						517	
1-A-7	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	椎名町駅地区都市交通システム整備事業	駅前広場 約 2,500㎡	豊島区						90	
合計													3,323		

※鉄道事業者とは、東日本旅客鉄道(株)、西武鉄道(株)、東武鉄道(株)、東京地下鉄(株)の4社

社会資本総合整備計画

平成 26年 7 月 18日

計画の名称	1 鉄道駅を中心とした地域拠点における都市環境の向上														
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)					交付対象	豊島区								
計画の目標															
地域の拠点となる鉄道駅及び駅周辺において、安全性と利便性を備えた快適な歩行者空間を整備することにより、賑わいと魅力が街中へと広がる都市環境を創出する。															
計画の成果目標(定量的指標)															
・駅周辺整備を進め、新たな広場空間(歩行者優先空間)を約4,400㎡(H27)創出する。 ・自転車駐車場整備を進め、放置自転車数を 1,266台(H22)から 890台(H27)まで減少(△30%)する。 ・一時滞在施設を拡充し、帰宅困難者の収容可能人数を 42,400人(H27)まで増加させる。(最終目標は、53,000人) ・帰宅困難者対策訓練を継続的に実施し、訓練の参加者数を 8,600人(H23)から 16,000人(H27)まで増加させる。(毎年2,000人の参加を予定)															
定量的指標の定義及び算定式					定量的指標の現況値及び目標値					備考					
3駅周辺の広場空間(歩行者優先空間)の整備状況を把握する					当初現況値	中間目標値	最終目標値								
					(H23当初)	(H25末)	(H27末)								
					(H22集計)	(H25集計)	(H27集計)								
					1,200㎡	3,700㎡	5,600㎡								
					(H22集計)	(H25集計)	(H27集計)								
3駅周辺における放置自転車台数を把握する					1,266台	1,030台	890台								
池袋駅周辺における一時滞在施設の収容可能人数を把握する					(H23集計)	(H25集計)	(H27集計)								
					0人	21,200人	42,400人								
池袋駅における帰宅困難者対策訓練への参加者数を把握する					(H23集計)	(H25集計)	(H27集計)								
					8,600人	12,000人	16,000人								
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,421 百万円	A	3,019 百万円	B	0 百万円	C	402 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	11.751%					
交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-A-1	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	大塚駅地区都市交通システム整備事業	駅前広場 約 8,000㎡	豊島区						305	
1-A-2	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	大塚駅地区都市交通システム整備事業	自転車駐車場 約 1,000台	豊島区						1,622	
1-A-3	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	池袋駅周辺地区都市交通システム整備事業	自転車駐車場 約 200台	豊島区						156	
1-A-4	交通	一般	豊島区	間接	豊島区	池袋駅周辺地区都市交通システム整備事業	地下通路サイン整備	豊島区						15	
1-A-5	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	池袋駅周辺地区都市交通システム整備事業	自由通路 延長: 約 120m、幅員: 約 20m	豊島区						36	
1-A-6	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	椎名町駅地区都市交通システム整備事業	自由通路 延長: 22m、幅員: 5m	豊島区						517	
1-A-7	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	椎名町駅地区都市交通システム整備事業	駅前広場 約 2,500㎡	豊島区						90	
1-A-8	交通	一般	豊島区	間接	豊島区	池袋駅周辺地区都市交通システム整備事業	バリアフリー基本構想改訂	豊島区						8	
1-A-9	交通	一般	豊島区	間接	鉄道事業者※	池袋駅周辺地区都市交通システム整備事業	東口エレベーター整備 1機	豊島区						150	
1-A-10	交通	一般	豊島区	間接	豊島区	池袋駅周辺地区都市交通システム整備事業	駅周辺安全確保計画策定	豊島区						24	
1-A-11	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	池袋駅周辺地区都市交通システム整備事業	事業者間情報通信網整備	豊島区						15	
1-A-12	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	池袋駅周辺地区都市交通システム整備事業	高所カメラの設置	豊島区						6	
1-A-13	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	池袋駅周辺地区都市交通システム整備事業	帰宅困難者への情報提供体制整備	豊島区						75	
合計													3,019		

※鉄道事業者とは、東日本旅客鉄道(株)、西武鉄道(株)、東武鉄道(株)、東京地下鉄(株)の4社

社会資本総合整備計画

平成 27 年 3 月 20 日

計画の名称	1	鉄道駅を中心とした地域拠点における都市環境の向上															
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)					交付対象		豊島区									
計画の目標																	
地域の拠点となる鉄道駅及び駅周辺において、安全性と利便性を備えた快適な歩行者空間を整備することにより、賑わいと魅力が街中へと広がる都市環境を創出する。																	
計画の成果目標(定量的指標)																	
・駅周辺整備を進め、新たな広場空間(歩行者優先空間)を約4,400㎡(H27)創出する。 ・自転車駐車場整備を進め、放置自転車数を 1,266台(H22)から 890台(H27)まで減少(△30%)する。 ・一時滞在施設を拡充し、帰宅困難者の収容可能人数を 42,400人(H27)まで増加させる。(最終目標は、53,000人) ・帰宅困難者対策訓練を継続的に実施し、訓練の参加者数を 8,600人(H23)から 16,000人(H27)まで増加させる。(毎年2,000人の参加を予定)																	
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値					備考				
3駅周辺の広場空間(歩行者優先空間)の整備状況を把握する								当初現況値	中間目標値	最終目標値							
								(H23当初)	(H25末)	(H27末)							
								(H22集計)	(H25集計)	(H27集計)							
								1,200㎡	3,700㎡	5,600㎡							
								3駅周辺における放置自転車台数を把握する								(H22集計)	(H25集計)
1,266台	1,030台	890台															
池袋駅周辺における一時滞在施設の収容可能人数を把握する								(H23集計)	(H25集計)	(H27集計)							
								0人	21,200人	42,400人							
池袋駅における帰宅困難者対策訓練への参加者数を把握する								(H23集計)	(H25集計)	(H27集計)							
								8,600人	12,000人	16,000人							
全体事業費		合計 (A+B+C)	3,277 百万円	A	2,875 百万円	B	0 百万円	C	402 百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)		12.267%					
交付対象事業																	
A1 基幹事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)		事業内容 (延長・面積等)		市区町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
1-A-1	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	大塚駅地区都市交通システム整備事業		駅前広場 約 8,000㎡		豊島区						305	
1-A-2	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	大塚駅地区都市交通システム整備事業		自転車駐車場 約 1,000台		豊島区						1,622	
1-A-3	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	池袋駅周辺地区都市交通システム整備事業		自転車駐車場 約 200台		豊島区						156	
1-A-4	交通	一般	豊島区	間接	鉄道事業者※	池袋駅周辺地区都市交通システム整備事業		地下通路サイン整備		豊島区						15	
1-A-5	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	池袋駅周辺地区都市交通システム整備事業		自由通路 延長:約 120m、幅員:約 20m		豊島区						36	
1-A-6	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	椎名町駅地区都市交通システム整備事業		自由通路 延長: 22m、幅員: 5m		豊島区						517	
1-A-7	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	椎名町駅地区都市交通システム整備事業		駅前広場 約 2,500㎡		豊島区						90	
1-A-8	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	池袋駅周辺地区都市交通システム整備事業		バリアフリー基本構想改訂		豊島区						8	
1-A-9	住宅	一般	豊島区	間接	鉄道事業者※	池袋駅地区バリアフリー環境整備促進事業		東口エレベーター整備 1機		豊島区						6	
1-A-10	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	池袋駅周辺地区都市交通システム整備事業		駅周辺安全確保計画策定		豊島区						24	
1-A-11	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	池袋駅周辺地区都市交通システム整備事業		事業者間情報通信網整備		豊島区						15	
1-A-12	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	池袋駅周辺地区都市交通システム整備事業		高所カメラの設置		豊島区						6	
1-A-13	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	池袋駅周辺地区都市交通システム整備事業		帰宅困難者への情報提供体制整備		豊島区						75	
合計															2,875		

※鉄道事業者とは、東日本旅客鉄道(株)、西武鉄道(株)、東武鉄道(株)、東京地下鉄(株)の4社